

取組事例 道内各市町村や支援機関等と連携した地産外商の推進

(旭川市)

旭川市では、コロナ禍による社会変容を踏まえ、地場産品の高付加価値化、ブランド化を進め、販路開拓・拡大を促進するため、商品の開発・改良や販促力強化を支援するとともに、国内外に地場産品の魅力をPRする。

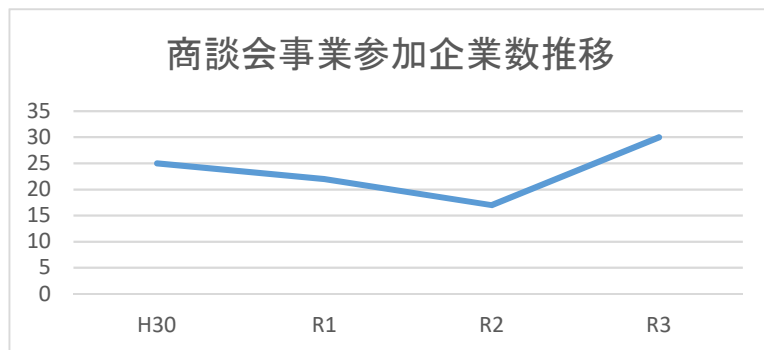
関連数値目標・KPI ※代表的なものを記載

	基準値 (R元)	実績 (R3)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
商談成約数	29	42	120	35
参加企業数	—	30	120	25

取組の推進体制

道北5市や周辺自治体をはじめ、支援機関である物産協会や地場産業振興センター、ジェトロ等と連携し、それぞれが保有するリレーションを活用した販路拡大及びその支援を行う。

商談会事業参加企業数推移(実数)



商談会事業の参加企業の常連化が続いていたが、多様な商談先の開拓やオンラインの活用により、事業参加企業を増加させる。

取組事例

国内外の市場とのオンライン商談会

- 主な取組
 - ・ 宅配、グロッサリー専門店、道外のスーパーマーケット等とのオンライン商談会
 - ・ 海外取引促進に向けたオンラインワークショップ・商談会
 - ・ 市場開拓に係る相談窓口の設置
- 主な成果
 - ・ オンライン商談会
参加企業：30社 成約数：42件
 - ・ 相談窓口
訪問件数等：798件 相談件数：40件



道外量販店との取引促進

- 主な取組
 - ・ 道外の量販店に買取を条件とした北北海道物産展の開催を提案
 - ・ テレビの生中継、ラジオの公開生放送、新聞折込広告の活用により、地域の魅力を発信
 - ・ 小売商品を惣菜原料とするなどバイヤーと連携した商品改良を支援
- 主要成果
 - ・ 取引額：8,000千円

